

「第12回環日本海環境協力会議」  
富山県知事挨拶

立山連峰の新雪が美しく輝く季節を迎えておりますが、本日、環日本海地域各国の政府関係者、専門家をはじめ、多くの皆様のご出席のもと、「第十二回環日本海環境協力会議」を開催できますことは、誠に喜ばしい限りであり、心からお礼申し上げます。

また、国内外からご参加の皆様には、ようこそ富山県へお越しくございました。富山県民を代表して、心から歓迎申し上げます。

さて、地球温暖化や海洋汚染など深刻化する地球環境問題は、二十一世紀における人類共通の最重要課題であり、地域を越えたグローバル・パートナーシップのもとで、持続的発展が可能な社会の創造に向けた幅広い取組みが求められております。

特に、北東アジアの諸地域にとって、日本海を含む北西太平洋は、豊かな自然や漁業資源など数多くの恵みをもたらしてくれる貴重な財産であり、また、この地域では、古くから経済や文化の交流が積極的に行われてまいりました。私たちは、この海を「平和と発展の海」として、守り育てていかなければなりません。

このため、富山県では、県政目標を定めた総合計画として「富山県民新世紀計画」を策定し、この中に「環境立県」、「国際立県」を掲げ、環日本海地域の環境保全や環境協力に積極的に取り組んでおります。

こうした施策を推進するため、一九九八年には、内閣総理大臣認可の「財団法人環日本海環境協力センター（NPEC）」を設立し、その活動を支援するとともに、現在、韓国釜山市と共同設置されることになっている北西太平洋行動計画（NOWPAP）地域調整部の本県での早期開設に向けて、全力を尽くしているところであります。

こうしたなか開催されますこの会議では、公開シンポジウムや各国代表による基調講演等が行われ、海洋環境保全や国際環境協力など幅広い環境問題について討議がなされます。

二十一世紀はアジアの時代であるといわれておりますが、とりわけ、環日本海地域が大きく発展する時代であると思っております。

このたびの会議を契機として、環日本海地域における環境協力の輪がさらに大きく広がり、環境保全の取組みが一層進展することを願ってやみません。

また、国内外からお越しの皆様には、このたびのご来県を機に、美しく豊かな自然や新鮮な海の幸、山の幸など、富山県の秋の魅力を大いに実感していただければ誠に幸いに存じます。

おわりに、この会議が実り多いものとなりますよう祈念いたしますとともに、皆様方のますますのご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、私の挨拶といたします。

二〇〇三年十一月二十四日

富山県知事 中 沖 豊